

経営比較分析表（平成30年度決算）

福岡県地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市立こども病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	200床以上~300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	I 未 訓	救 臨 地 輪
人口 (人)	建物面積 (㎡)	不採算地区病院	看護配置	
-	28,411	非該当	7 : 1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

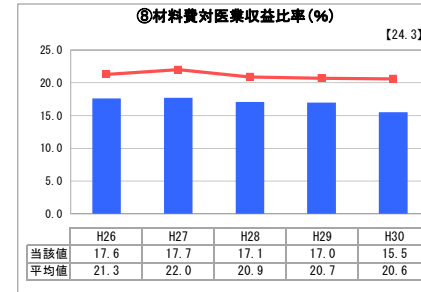
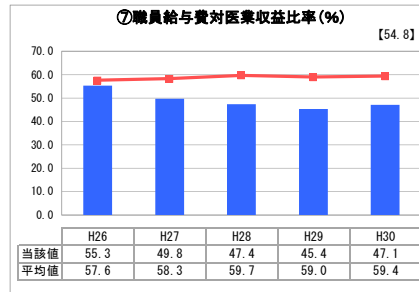
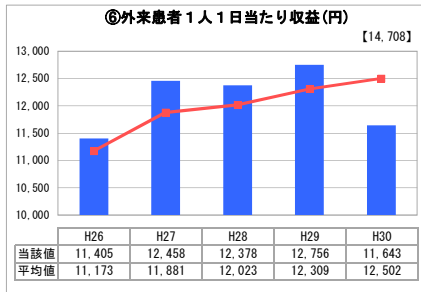
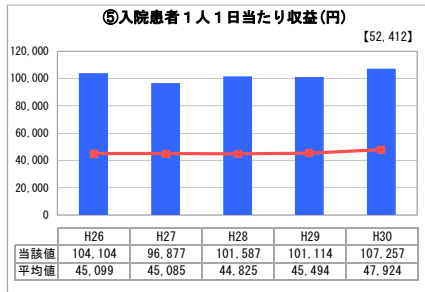
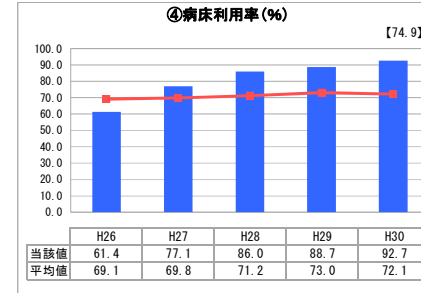
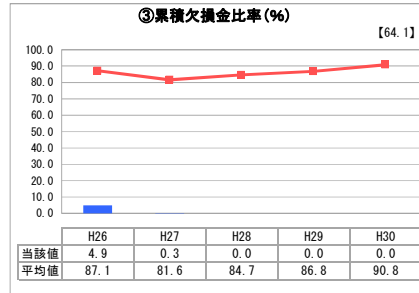
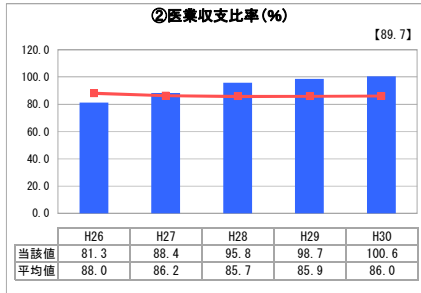
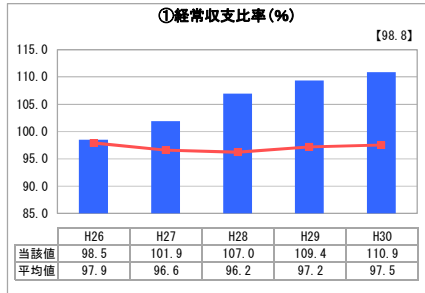
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
239	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	239
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
239	-	239

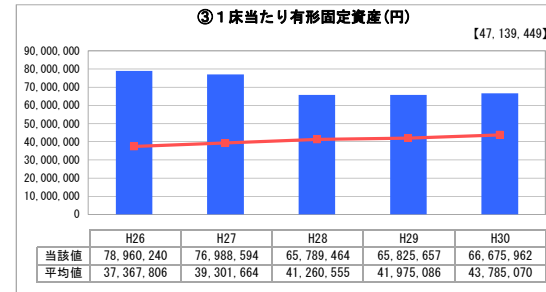
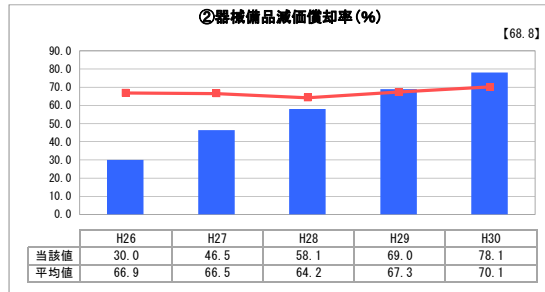
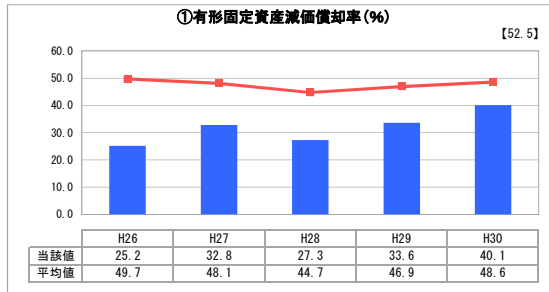
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	平成22 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

福岡市における医療施策として求められている救急医療、高度専門医療等を提供すること等により、市内の医療水準の向上を図り、もって市民の健康の維持及び増進に寄与する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

健全性について、福岡市立こども病院においては、NICU及びGCUの病床再編や、HCUに専任の医師1人を配置するなど重症患者の円滑な受入れに取り組み、病床利用率の向上に努めた。また、診療報酬改定等を踏まえ「抗菌薬適正使用支援加算」などの新たな施設基準の取得や、レセプト精度調査を実施するなど、様々な対策に取り組んだ結果、3指標の目標をすべて達成した。効率性について、入院患者1人1日当たり収益は類似団体の2倍強の収益を計上している。また、材料費対医業収支比率は、外部コンサルによる価格交渉の徹底等により、類似団体よりも低い水準で推移している。

2. 老朽化の状況について

平成26年11月の新築・移転より5年が経過したが、未だ、償却期間が短期であることから、有形固定資産減価償却率については、類似団体と比較して低率で推移している。

なお、移転と並行して医療機器の更新も行っているが、資産の耐用年数の関係（建物よりも短期である）により、機械備品減価償却率は、類似団体と同様の率となっている。

また、1床当たりの有形固定資産については、有形固定資産減価償却率と同様の理由であるが類似団体と比較して高率で推移している。

全体総括

経営の健全性・効率性を表す指標は、類似団体と比較すると概ね良好に推移しており、現在の経営の状況は健全であるといえる。

今後の課題としては、福岡市立こども病院においては、求められる高度小児医療、小児救急医療及び周産期医療を提供する病院としての役割を果たしていくため、必要な病床数や医療機能等について、医療環境の変化を踏まえながら検討を進めていく必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成30年度決算）

福岡県地方独立行政法人福岡市立病院機構 福岡市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	対象	ド透I訓	救 臨 感 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
-	14,731	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

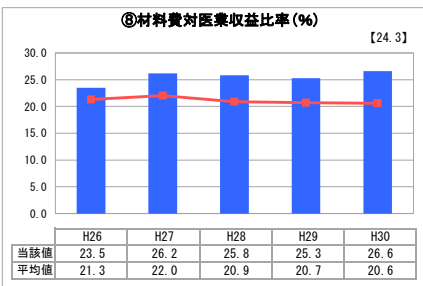
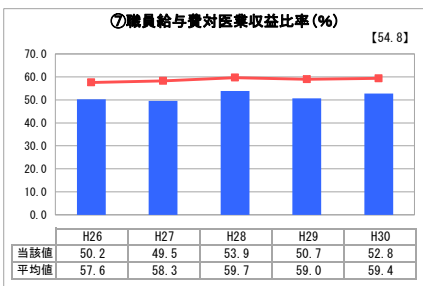
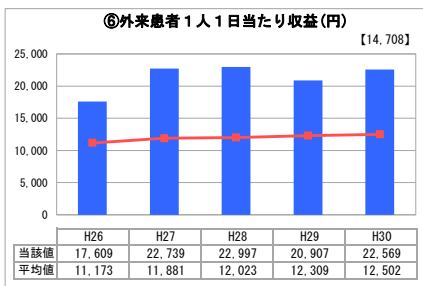
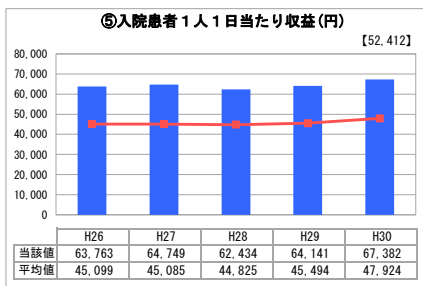
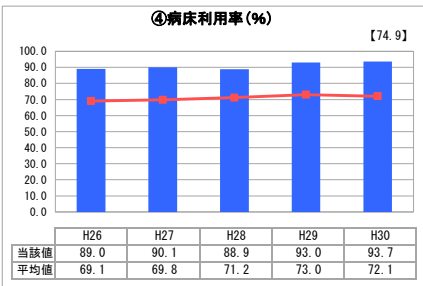
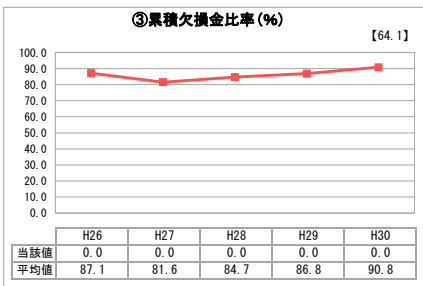
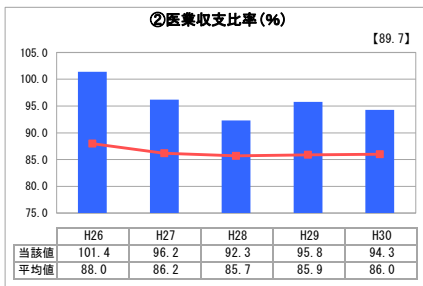
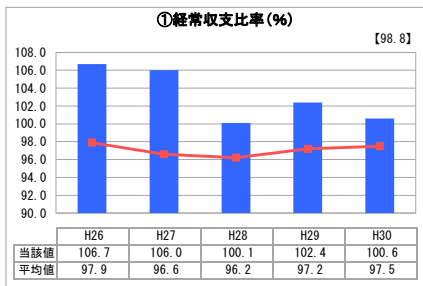
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
200	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	204
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
200	-	200

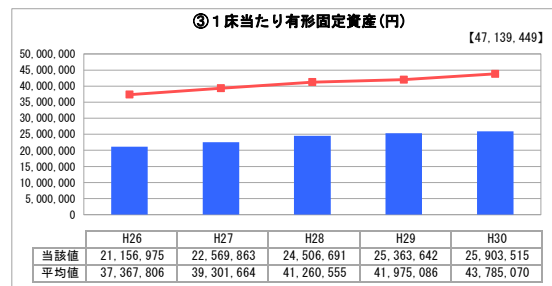
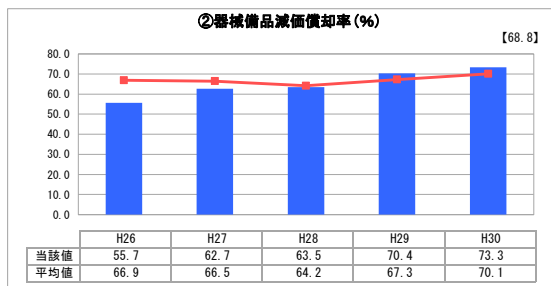
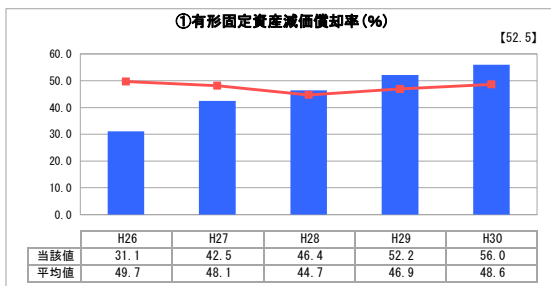
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	平成22年度	- 年度

I 地域において担っている役割

福岡市における医療施策として求められている救急医療、高度専門医療等を提供すること等により、市内の医療水準の向上を図り、もって市民の健康の維持及び増進に寄与する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

健全性について、福岡市民病院においては、救急専門医の増員など救急医療体制の更なる充実や、手術に係る受け入れ体制の見直し等に取り組んだ結果、高額な手術件数が増加するとともに、入院診療単価が前年度及び目標値を大幅に上回り、類似団体よりも高い水準で推移している。効率性について、患者1人1日当たり収益は、入院外来共、類似団体と比較して高い水準を示している。また、材料費対医業収支比率については、外部コンサルタントを活用した調達に係る価格交渉の徹底を図ったが、類似団体よりも高い水準で推移している。

2. 老朽化の状況について

平成元年4月竣工から30年余が経過し、減価償却も進んだことから、有形固定資産減価償却率については、類似団体と同様に高率で推移している。また、器械備品減価償却率についても同様である。なお、1床当たりの有形固定資産については、類似団体の平均値よりも低率で推移している。

全体総括

経営の健全性・効率性を表す指標は、類似団体と比較すると概ね良好に推移しており、現在の経営の状況は健全であるといえる。今後の課題としては、福岡市民病院においては、地域医療構想及び医療計画において求められる高度専門医療並びに救急医療体制を提供するために必要な取組を継続して行うとともに、災害・新型インフルエンザ等発生時やその他の緊急時には、事業継続計画（BCP）に基づき、福岡市及び関係機関との連携の下、市立病院として求められる役割を果たす必要がある。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。